

- 1 743年に出来、開墾した土地を永久に私有することを認めることで、土地の私有化を
広めた法律を何という？
- 2 奈良時代、政府の統制が強まるなかで、僧が民衆の間を巡り歩いて広め、深い信仰を集
めた宗教を何という？
- 3 政府に禁じられても民衆の間で仏教を広め、橋や池をつくって信頼を集め、大仏づくり
にも協力した僧は誰？
- 4 防人として徴兵された農民たちは、主に日本のどの地方から選ばれていましたか？
- 5 聖武天皇が鎮護国家の象徴として建立を命じた、奈良にある寺院を何という？
- 6 奈良時代、仏教の力によって国を災いから守ろうとする思想を何という？
- 7 令制国に派遣され、徴税や裁判といった地方の行政を担った官吏を何という？
- 8 奈良時代末期に編纂された、現存する日本最古の歌集を何という？
- 9 701年に制定され、天皇を中心とした中央集権的な政治体制を整える基礎となった律令
を何という？
- 10 人口増加により不足し、開墾のきっかけとなった、政府が農民に与えた土地を何とい
う？
- 11 710年に唐の都である長安をモデルにして建設された、奈良の都を何という？
- 12 正倉院にゆかりの品々がおさめられている、奈良時代の天皇は誰？
- 13 奈良時代に、中国の制度や文化を学ぶために派遣された使節を何という？
- 14 戸籍に基づいて6歳以上のすべての人々に田地を分け与え、そのかわりに税を徴収する
制度を何という？
- 15 律令制下で、九州北部の守備を担当した兵士の任務を何という？
- 16 郡司が指揮下に入っていた、中央から派遣された地方長官のことを何という？
- 17 713年、国ごとに地理や産物などをまとめるように命じた天皇は誰？
- 18 奈良時代、墾田永年私財法をきっかけに貴族や寺院が広大な土地を所有するようになっ
た結果生まれた、私有地のことを何という？
- 19 正倉院で見られる、三角材を組み上げて湿気を防ぐ建築様式を何という？
- 20 行基が協力したことでも知られる、聖武天皇が国家の安泰を願って奈良に造営した巨大
な仏像を何という？
- 21 奈良時代の班田収授法において、政府が戸籍に基づき土地（口分田）を分け与える対象
となったのは何歳以上の男女？
- 22 郡司が行政に携わった、大宝律令などに基づく国家体制を何という？
- 23 律令国家の統治体系として、中央から地方の国に派遣された役人を何という？



① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	政府は、743年に「 <u>聖田永年私財法</u> 」を制定しました。		<u>聖田永年私財法</u>	☐
2	当時の <u>仏教</u> は、国家の公的な儀式のみならず、次第に一般民衆の生活や心にも浸透していきました。		<u>仏教</u>	☐
3			<u>行基</u>	☐
4	当時の <u>東国</u> は馬の飼育や弓の技術に長けた者が多く、軍事的な実力が高く評価されていました。		<u>東国</u>	☐
5	<u>東大寺</u> は、743年の大仏造立の詔により、聖武天皇が中心となって建立されました。		<u>東大寺</u>	☐
6	<u>鎮護国家</u> とは、仏教の加護によって国を安定させ、平和を守ろうとする思想です。		<u>鎮護国家</u>	☐
7	<u>国司</u> は、国府を拠点として、租庸調の徴収や公共事業、裁判など地方における行政実務を一手に担いました。		<u>国司</u>	☐
8	<u>万葉集</u> は、奈良時代末期に大伴家持らによってまとめられたと言われる、日本最古の和歌集です。		<u>万葉集</u>	☐
9	701年に制定された <u>大宝律令</u> は、国家の基本となる法律であり、天皇を頂点とする中央政府と、その下に置かれる地方行政の組織や規則を定めました。		<u>大宝律令</u>	☐
10	<u>口分田</u> （くぶんでん）は、戸籍に基づき、6歳以上のすべての人々に政府が支給した耕作地です。		<u>口分田</u>	☐
11	<u>平城京</u> は、710年に元明天皇によって奈良の地に建設された都です。		<u>平城京</u>	☐
12	<u>聖武天皇</u> は、各地に国分寺を建て、東大寺には大仏を造立しました。		<u>聖武天皇</u>	☐
13	<u>遣唐使</u> は、7世紀から9世紀にかけて、日本が唐へ派遣した公式の使節団です。		<u>遣唐使</u>	☐
14	<u>班田収授法</u> は、6歳以上の男女に口分田という田地を貸し与え、その人が亡くなれば国に返させる制度です。		<u>班田収授法</u>	☐
15	防人は、律令制における国防の要として、特に重要視された九州北部の防衛を任されました。		<u>沿岸警備</u>	☐
16	<u>国司</u> は、中央政府の意向を地方へ伝え、郡司を管理することで徴税や戸籍管理を行いました。		<u>国司</u>	☐
17	第43代天皇で、710年の平城京遷都を実行しました。		<u>元明天皇</u>	☐
18	こうして形成された私有地が <u>荘園</u> です。		<u>荘園</u>	☐
19	<u>校倉造</u> は、断面が三角形の木材を井桁（いげた）に組んで壁を作る工法です。		<u>校倉造</u>	☐
20	「 <u>東大寺の大仏</u> 」は、鎮護国家の精神を象徴する巨大な銅像です。		<u>東大寺の大仏</u>	☐
21	戸籍を6年ごとに作り直し、 <u>6歳以上</u> の男女に対して、身分や性別に応じた広さの口分田を貸し出しました。		<u>6歳以上</u>	☐
22	<u>律令国家</u> では、公地公民の原則に基づき、戸籍を作成して人々に税を課しました。		<u>律令国家</u>	☐
23	<u>国司</u> は、その土地の税の徴収や戸籍の管理、裁判など、地方行政全般を担いました。		<u>国司</u>	☐

言えなかった用語ノート